

## 中国・小売業 No.1 の大手 EC&インフラカンパニー<sup>ジンドン</sup>京東集團【JD.com】 中国で初めての開催となる「中国国際輸入博覧会」で 約 1 兆 640 億円相当の商品仕入れを発表

中国市場を牽引する EC サイト「京東商城（JD.com）」を運営する中国・小売業 No.1 の大手 EC & 小売インフラカンパニー<sup>ジンドン</sup>京東集團（代表：劉強東 本社：中華人民共和国 北京市 NASDAQ:JD）は、2018 年 11 月 5 日、同日より上海市で開催されている「第一回 中国国際輸入博覧会」の開催期間である 2018 年 11 月 5 日～10 日において、約 1,000 億元（約 1 兆 640 億円）相当の海外製品を仕入れることを発表しました。

2018 年上半期の中国越境 EC 小売輸入取引規模は 1 兆 300 億元（約 16 兆 8420 億円）と、前年同期比 19.4%増加しています。また、2018 年全体では 1 兆 9000 億元（約 31 兆円）まで到達する見込みで、急拡大を続けています\*。

京東は中国国内製品だけでなく海外商品の輸入・販売にも注力しており、2016 年から 2018 年の海外商品の取扱数における伸び比率は 150%以上となっています。また京東の海外商品ユーザー数も 2016 年から 2017 年で 37.1%増加しているなど、取扱数・ユーザー数ともに拡大を続けています。

京東は中国の EC 業界を牽引するプラットフォームとして、入出庫と配送を一体化させた自社物流システムを構築してきました。また自社のビックデータ活用による海外サプライヤーと国内消費者のニーズ分析などを通じて、輸入貿易における利便性向上に貢献しています。

今回の「第一回 中国国際輸入博覧会」で京東が主催したフォーラム（11 月 6 日開催）では、これまでの知見を活かし、中国貿促会研究院（ACCPIT）と京東集團の傘下である京東-中伝（中国伝媒大学）ビックデータ連合実験室が共同で、「2018 年中国輸入指南マニュアル」を発表しました。本発表では、今後の消費傾向、マーケティング、サプライチェーンなど多方面から中国市場を解析し、海外ブランドの「中国市場攻略」について紹介しました。

京東はこれまでに海外ブランドと数多く提携し、中国市場参入の成功をサポートしてきました。今後も京東は自社の技術開発に注力するとともに海外企業の中国市場への参入をサポートし、海外商品と中国消費者の確固たる架け橋になることを目指してまいります。

※参考：中国電子商務研究センター「2018年中国越境EC市場データ監測（監視・測定）報告」

■中国国際輸入博覧会とは

2018年11月5日～10日に、中国で初めて輸入をテーマに開催される国際博覧会です。博覧会では、各国の企業が中国に輸出したい商品を展示しており、172カ国・地域から3,600社以上の企業が出展しています。

【会社概要】

- ・会社名： JD.com 京東日本株式会社
- ・所在地： 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-1  
大手町パークビルディング7階703
- ・TEL： 03-6259-1951
- ・資本金： 3,000万円
- ・代表者： 日本業務最高責任者 荒井伸二
- ・業務内容： 越境ECの進出支援、日中間の一般貿易及び技術提携窓口